

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	ドブタミンの追加が TAVI の麻酔管理において循環の安定性に及ぼす影響についての研究
研究責任者	聖隷浜松病院麻酔科 奥井 悠介
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院麻酔科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2020 年 6 月 4 日
対象者	2017 年 1 月から 2019 年 11 月の間に聖隷浜松病院で、バルーン拡張型の大動脈アプローチ TAVI を受けられた患者。
研究の意義・目的	TAVI において高頻度心室ペーシング (RVP) 下の人工弁留置後に低血圧が遷延する症例が少なくない。ドブタミンを使用することで、人工弁留置後に安定した血圧回復が得られるならばその意義は大きいと考える。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 性別、年齢、身長、体重、大動脈弁弁口面積、平均圧較差、左室 EF、人工弁のサイズ、RVP 時間、弁留置後の遷延性低血圧、循環回復後の収縮期血圧、使用した昇圧薬の種類と投与量 【評価・解析方法】TAVI 中の持続昇圧薬をノルアドレナリンのみの群とノルアドレナリンとドブタミンを併用した群で、人工弁留置後の血圧を統計的手法を用いて比較検討する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 (氏名) 奥井悠介 TEL: 053-474-2222 (代表) 9:00~17:00 平日